

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標(SDGs(エス・ディー・ジーズ:Sustainable Development Goals))は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の目標のことです。

地球環境を守るとともに、誰一人として取り残さないよう、世界の国々が、ともに取り組んでいく内容を決めたものです。

国や企業だけでなく、個人ができることもたくさんあります。私たち一人ひとりの暮らし方が世界の未来を変えていく大きな力になります。

よりよい世界を、未来のこどもたちへつないでいきましょう。



わたしたち一人ひとりの暮らし方が、世界の未来を変えていく

できているものには チェックを! チェックがなかったものは、ぜひチャレンジしてみてください!



家の中でできることは、実はすごく多い!



- ゴミの分別をしっかり行う
- 水のムダ使いをやめる
- 電気はこまめに消す
- 髪の毛はタオルドライをしっかりして、ドライヤーの使用時間を減らす
- 窓に断熱シートを貼って保温効果を高める
- 家具の転倒防止や防災グッズを用意する
(命を守ることは、11の目標に関係しているよ)
- 短時間の間に、家族みんながお風呂に入る
(お湯を沸かしなおす必要がなくなるよ)
- 使っていないものは寄附したり、バザーに出す
- 油をシンク(排水口)に流さないで拭き取る
- 「賞味期限」と「消費期限」を理解している
(「賞味期限」はおいしく食べることができる期限のことだから、期限を過ぎたからと言ってすぐに食べられないわけじゃないよ。「消費期限」は安全に食べられる期限のこと、いたみやすい食品に表示されているよ。)
- エアコンのフィルターなどは定期的にそうじする



環境に優しいもの、ずっと使えるものを選んでみよう!

- マイバッグを持っていく
- 家電は省エネの製品を選ぶ
- 使い捨てではなく何度も繰り返し使えるものを選択する
- フェアトレードの商品を選ぶ(コラム①をチェック)
- 食材は買い過ぎない(コラム②をチェック)
- 訳あり品を積極的に選ぶ
(食べれるのに廃棄されるなんて“もったいない”)

- 過剰包装ではなく簡易包装にしてもらう
- 野菜などは地元産のものを選ぶ
(輸送コストがかからないし、地元の農家も応援できる)
- オーガニック(※)のものを選ぶ
※農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された農産物
- コンビニなどで、プラスチック製のスプーンやフォークはもらわない



旅行やお出かけする時だって、SDGsは実践できる!

- マイボトル・マイバッグを持っていく
(イベントには、マイ皿、マイカップも!)
- CO₂排出の少ない交通手段を使う
(車より電車、電車より徒歩や自転車で出かけよう)
- 車で出かけるときは、できるだけ乗り合わせる
- ごみは必ず持ち帰る
(ごみ袋をいつもカバンに入れておこう)
- 川や海岸の清掃活動に参加してみる
(コラム③をチェック)
- 宿泊先で連泊するとき、シーツは取り替えをしてもらわない選択をする

コラム 1 同時に複数の目標に近づけるものがある!?

例えば、チョコやコーヒーなどのフェアトレードの商品を購入すれば、以下の7つの目標に近づくことができるよ。

- 2 5 8 12
13 16 17



「フェアトレード」とは

開発途上国から原料や製品を本当に安く買うのではなく、適正な価格で継続的に買い取ること。くわしくはHPで▶



QRコード

コラム 2 日本では家庭からの「食品ロス」が約5割!?

食品ロスとは「まだ食べられるのに廃棄される食品」のこと。日本では一般家庭から捨てられたものが食品ロスの5割近くを占めている。

食品ロスを減らすにはどうしたらいいの?

- ◆食べる分だけ買う ◆食材を無駄にしない レシピを活用する
- ◆作りすぎない
- ◆食べ残しをしない



コラム 3 「海洋プラスチックごみ」はどうしてそんなに問題なの?

ビニール袋・ペットボトル・ストローなど、安価で軽く加工しやすいプラスチックは、私たちの生活の中でふれています。これらのプラスチックがまちの中で捨てられると、雨や風で川へと流され、やがて海へとたどり着きます。これを「海洋プラスチック」といいます。プラスチックは容易に自然分解されないため、海に漂流し続け、その量は年々増加しています。「ポイ捨ては絶対にしない」という一人ひとりの意識が海の未来を左右します。



これら以外にもできることはたくさんあります!
暮らしの中でSDGsにつながることを、どんどん発見していってください!

